



びすけっと

237号—2022年11月—

埼玉県立小児医療センター

血液・腫瘍科

親の会 びすけっと

もっとみなさんにつながれるように…

Instagram始めました！

https://www.instagram.com/biscuit_oyanokai/



🍄がんの子どもを守る会 2022年度年次大会

6月26日(日)に開催された年次大会の講演とパネルディスカッションについてオンデマンド配信を視聴しましたので、感想等をお伝えします。詳細は、がんの子どもを守る会の機関誌「のぞみ第211号」に掲載されています。

また、会報第231号でお伝えした3団体合同シンポジウムのうち深草先生、大窪先生の講演録が「のぞみ第210号」に掲載されています。ご覧になりたい方はびすけっとまでご連絡ください。(柳戸)

① 講演

「第四期がん対策推進基本計画に向けて」

厚生労働省健康局がん・疾病対策課 課長補佐 上野琢史氏

日本においてがんが死因の第一位になったことを受けて様々な施策が実施され、平成19年からおよそ5年ごとにがん対策推進基本計画が策定されてきました。現在は来年策定される第四期がん対策基本計画に向けて中間評価が行われ、そこで明らかにされた課題を次の施策に反映していく段階だそうです。ライフステージに応じて就学・就労・妊孕性温存などへの支援策が取り組まれてきたことは前進面だと思います。今回明らかになった課題が、第四期の計画でより実効性のある内容になることを期待したいと思います。

「小児がんの現在と未来」

がん対策推進協議会委員 大賀正一先生(一般社団法人日本小児血液・がん学会理事長)

小児がんの治療成績は確実に向上しているというお話に希望がもてた一方で、何らかの晩期障害が77%の小児がん経験者に発生(軽度も含む)していることが厳しい現実に思いました。それでもこの2年間にゲノム医療や分子標的薬等が進歩し、より正確な診断とそれに基づく治療ができるようになってきて、将来の生活を見据えた治療の選択が可能になってきていることに希望を感じました。

② パネルディスカッション

ご講演いただいたお二人に加え、小児・AYA世代がん対策政策提言ワーキンググループより酒井信夫氏・栗山宣夫氏・石田美香氏が登壇されました。

医療・福祉、教育、仕事各グループの報告内容は、5月24日に厚生労働省及び文部科学省にそれぞれ提出された要望書にまとめられています。要望書はがんの子どもを守る会のホームページで見ることができます。

<http://www.ccaj-found.or.jp/news/info/woking-2022/>

がんの子どもを守る会→



大賀先生からはICT(インターネット利用等)は改善を実感しているが、高校生の就学や就労についてはまだ難しい面があるというお話がありました。

上野氏からは実際に困っていること等が明確になってきたので施策に反映させていきたいというお話がありました。

次回のびすけっとは、**12/13(火)11:00~**

相談室B(2F 総合受付奥)

びすけっと連絡先: 代表 柳戸 民子

〒350-2224 鶴ヶ島市町屋112-5

TEL 049-271-4708 (留守電)

e-mail yanagido@t.zaq.jp

※びすけっとの参加のためだけに病院に来られた場合、

- ・駐車料金は一般料金になりますので、病院外の駐車場をご利用することをおすすめします。
- ・入館時の健康チェックシートは、外来・面会用ではなく、職員専用通路内にある来客・業者用をご使用ください。

※変更の場合があるため、
来る前にインスタや
LINEで確認してね。

柳戸LINE、QRコード
ラインでのご連絡もOK!

